

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第3期美唄市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道美唄市

### 3 地域再生計画の区域

北海道美唄市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市はかつて炭鉱で栄えた「石炭の町」でしたが、国のエネルギー政策により1972年頃炭鉱はほぼ閉山し、以後の米を中心とした「農業」が地域経済をけん引する産業である。

人口は、1960年の87,345人をピークに減少しており、20,413人（2020年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には11,914人、2060年には6,058人まで減少する見込みであり、2020年対比ではそれぞれ58.4%、29.7%となった。

年齢3区分別の人口動態をみると、2005年以降では、年少人口（0～14歳）は2005年の3,178人をピークに減少し、2020年には813人となった一方、老年人口（65歳以上）は2005年の8,377人から2020年には8,667人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2005年の17,528人をピークに減少傾向にあり、2020年には10,207人となっている。

自然動態をみると、出生数は2006年の171人をピークに減少し、2020年には66人となっている。その一方で、死亡数は2020年には385人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は319人（自然減）となっている。

社会動態をみると、いずれの年度でも転出数が転入数を上回っており、2020年

には 163 人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

このように、本市では、人口減少が急速に進む中で、晩婚化や晩産化、子育てに関する不安感や負担感が増していくことにより、少子化が加速していくことが心配されるほか、消費購買力の低下などにより経済規模の縮小化が懸念されること、さらには、生産年齢人口、特に若い世代の減少が著しいため、中小企業や農業など地域経済を支える産業の労働力の確保が課題となっているなど、地域社会に与える影響は大きいものと予測される。

これらの課題に対応するため、基幹産業である農業や地域経済をけん引する産業を中心とした産業の振興により新たな雇用の創出や安定化させ、若者の定着を図ること、移住者や関係人口等の拡大により流入人口の増加やまちづくりに協力してくれる人材を確保すること、子どもの出産や子育ての希望をかなえ、子育て世代にとって住みよい環境を整えること、人口減少下においても誰もが安心して幸せに暮らしていける社会を構築することについて、昨今の厳しい財政状況を踏まえつつ、デジタル技術を積極的に用いて分野横断的に、効率的かつ効果的に具体的な施策を展開していくこととする。

なお、取組に当たっては、次の事項を基本目標に掲げる。

- ・基本目標 1 ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり
- ・基本目標 2 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり
- ・基本目標 3 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり
- ・基本目標 4 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり
- ・基本目標 5 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり

## 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	民生委員・児童委員の充足率	88.2%	100%	基本目標 1

ア	地域活動への参加率	44.2%	46.7%	基本目標 1
ア	町内会・自治会活動の必要性を認識している住民の割合	55.6%	61.0%	基本目標 1
ア	地域で生活する障がい者の割合	94.3%	95.4%	基本目標 1
ア	入所施設からの地域移行者数	0人	2人	基本目標 1
ア	就労支援による一般就労移行者数	4人	4人	基本目標 1
ア	要介護認定率【年齢補正】	21.7%	23.7%	基本目標 1
ア	地域での支え合いの仕組みの数	5グループ	8グループ	基本目標 1
ア	認知症カフェへの本人・家族の参加人数	557人	600人	基本目標 1
ア	自分が健康だと思っている市民の割合	67.8%	75.0%	基本目標 1
ア	1年以内の健康診断受診率	75.5%	76.0%	基本目標 1
ア	喫煙習慣のある成人市民の割合	21.8%	12.0%	基本目標 1
ア	地域医療に対する満足度	56.4%	60.0%	基本目標 1
ア	市立美唄病院における看護師の離職率	6.12%	現状値より低下させる	基本目標 1
イ	製造品出荷額	147億円	147億円	基本目標 2
イ	美唄産農産物を活用し商品化された件数	13商品	18商品	基本目標 2
イ	中心市街地の活性化に向	19件	85件	基本目標 2

	けた中小企業等振興条例 補助金活用件数			
イ	職業紹介者の就職率	59.0%	60.0%	基本目標 2
イ	働き方改革に取り組んで いる企業の割合	57.1%	70.0%	基本目標 2
イ	観光入込客数	39.8万人	60万人	基本目標 2
イ	外国人旅行者満足度	<b>令和9年3月 取得予定</b>	60.0%	基本目標 2
イ	農業産出額	54.8億円	60億円	基本目標 2
イ	農地所有適格法人数	56法人	62法人	基本目標 2
イ	スマート農業機械利用者 普及率	41%	60%	基本目標 2
イ	生産年齢人口当たり婚姻 率	44.0%	54.0%	基本目標 2
イ	助成制度を活用した移住 ・定住者数（累計）	55件	300件	基本目標 2
イ	ふるさと美唄応援団活動 率	72.5%	82.5%	基本目標 2
ウ	子育てが地域で支えられ ていると感じる保護者の 割合	令和8年6月 に調査予定	令和8年度よ り向上	基本目標 3
ウ	子どもが健やかに生まれ 育つことができると感じ る保護者の割合	令和8年6月 に調査予定	令和8年度よ り向上	基本目標 3
ウ	子どもや子育て家庭の状 況に応じた支援に満足し ている保護者の割合	令和8年6月 に調査予定	令和8年度よ り向上	基本目標 3
ウ	平和祈念行事への参加者 数	640人	715人	基本目標 3

ウ	戦没者追悼式への参加者数	70人	70人	基本目標 3
ウ	全国学力・学習状況調査の平均正答率 (市内と全国との比較で、全国平均を0とした場合)	小学校-8.6% 中学校-7.8% (参考)全国 小学校 65.6% 美唄市 小学校 57.0% %全国 中学校 55.3% 美唄市 中学校 47.5%	小学校 0% 中学校 0%	基本目標 3
ウ	全国体力・運動能力、運動習慣等の体力合計点 (市内と全国との比較で、全国平均を 50 とした場合)	小学校男子 51.5点 女子55.4点 中学校男子 39.9点 女子 46.4点	小学校男子 51.5点 女子 55.4点 中学校男子 50.0点 女子 50.0点	基本目標 3
ウ	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合 (市内と全国との比較で、全国平均を0とした場合)	小学校-10.6% 中学校-5.6% (参考) 全国 小学校 84.8% 美唄市 小学校 74.2% 全国 中学校 83.8% 美唄市 中学校 78.2%	小学校 0% 中学校 0%	基本目標 3

ウ	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	35.8%	40.0%	基本目標 3
ウ	社会教育・スポーツ施設の年間利用者数	138,172人	150,000人	基本目標 3
ウ	1日30分以上週2回以上の運動習慣を身に付けている市民の割合	37.9%	50.0%	基本目標 3
ウ	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	19.8%	24.0%	基本目標 3
ウ	郷土史料館入館者数	10,245人	11,000人	基本目標 3
ウ	指定文化財の認知度	令和8年4月に取得予定	50%	基本目標 3
エ	宮島沼保全活動参加者数	900人	1,000人	基本目標 4
エ	宮島沼に関する環境学習会等への年間参加者数	400人	400人	基本目標 4
エ	市民一人当たり年間ごみ排出量	0.35t	0.3t	基本目標 4
エ	公共清掃に対するごみ袋等申請件数	179件	180件	基本目標 4
エ	公共施設等における温室効果ガス排出量	5,855t	5,600t	基本目標 4
エ	路盤改良、舗装等を行う道路延長	13,973m	33,650m	基本目標 4
エ	橋りょう長寿命化補修率	29.5%	100.0%	基本目標 4
エ	水道管更新率	4.2%	22.6%	基本目標 4
エ	都市の集約化	64.2%	70.1%	基本目標 4
エ	空き家の解消数	24件	25件	基本目標 4
エ	市営住宅の管理戸数と入居率	69.9%(978戸)	85.5%(800戸)	基本目標 4

エ	公園維持管理活動等の参加者数	200人	300人	基本目標 4
エ	遊具更新数	19基	65基	基本目標 4
エ	森林面積	12,211ha	現状維持	基本目標 4
エ	市営墓地利用に関する満足度	令和8年4月に調査予定	70.0%	基本目標 4
エ	カラス・害虫等の駆除件数	677件	700件	基本目標 4
エ	狂犬病の予防接種率	89.9%	92.6%	基本目標 4
エ	市民バス年間利用者数	57,012人	57,012人	基本目標 4
エ	乗合タクシー年間利用者数	1,619人	1,619人	基本目標 4
エ	のるーと美唄一日平均利用者数	47人	70人	基本目標 4
エ	自主防災組織率	21.2%	空知管内平均組織率	基本目標 4
エ	登録制メール登録件数(上段及び)登録制電話登録件数(下段)	307件 74件	764件 275件	基本目標 4
エ	防災訓練参加者数	515人	600人	基本目標 4
エ	犯罪発生率	3.9%	2.7%	基本目標 4
エ	人口1万人当たりの交通事故件数	9件	5件	基本目標 4
エ	消費生活展参加者数	130人	150人	基本目標 4
エ	出火率	3.3件	0件	基本目標 4
エ	住宅用火災警報器設置率	74.3%	100.0%	基本目標 4
エ	救急講習受講者数	502人	1,000人	基本目標 4
オ	市民活動への参加延べ人	300人	400人	基本目標 5

	数			
オ	郷土への愛着を持つ市民の割合	59.5%	63.0%	基本目標5
オ	まちづくりに参加している市内高校の生徒の数	219人	250人	基本目標5
オ	性別による差別のない社会が重要だと考える市民の割合	71.3%	80.0%	基本目標5
オ	市が主催・支援する多文化共生に関するイベントへの参加者数	36人	100人	基本目標5
オ	市のデジタルサービスに満足している市民の割合	令和8年4月に調査予定	令和8年度より向上	基本目標5
オ	デジタル技術活用による事務処理短縮時間数	令和8年4月に取得	1,300 時間	基本目標5
オ	デジタル情報閲覧率	33.9%	50.0%	基本目標5
オ	税金の使われ方に対する市民満足度	令和8年4月に調査予定	令和8年度より向上	基本目標5
オ	経常収支比率	92.6%	90.0%を超えない	基本目標5

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

### 第3期美唄市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり
- イ 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり
- ウ 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり
- エ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり
- オ 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり

#### ② 事業の内容

- ア ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり

急激な人口減少や少子高齢化に対応するため、福祉・保健・医療が一体となった事業を推進し、市民一人ひとりが「健康寿命」を延ばし、健康で生きがいを持って安心して暮らせる地域社会を実現するための事業

##### 【具体的な事業】

- ・誰ひとり置き去りにしない、安心して暮らせる地域社会の形成
- ・健康で安心して暮らせる保健・医療環境の充実 等

- イ 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり

地域経済と産業の活性化を進め、多様な人材が活躍できる場を提供し、地元産業との連携強化や新産業・雇用創出目指すとともに、交流人口や移住定住人口の増加などを創出・拡大する事業

##### 【具体的な事業】

- ・地域資源を生かした「にぎわい」づくり
- ・いのちを育む食と農の振興 等

- ウ 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり

人口減少を抑制のため自然環境を活かし、子育てしやすいまちづくりと生涯学習環境を整備し、地域活性化と文化芸術の創造性を生かした地域づくりを目指す事業

##### 【具体的な事業】

- ・安心して子育てできる環境の充実
- ・生きる力を育む教育と次代を担う人材育成
- ・文化・芸術を育む活動と生涯学習・スポーツの振興 等

- エ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

自然環境の保全と活用を進め、都市基盤や防災力向上、空き家対策を行い、市民が安全・安心して暮らせるまちづくりを目指す事業

**【具体的な事業】**

- ・豊かな自然環境の保全と共生
- ・快適な都市空間の形成
- ・安全・安心なまちづくり 等

オ 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり

人口減少と少子高齢化に対応し、市民主体のまちづくりや協働を推進、市民の社会活動への参画を促進する事業

**【具体的な事業】**

- ・性別や年齢、障がいに関係なく、誰もが活躍できる社会の形成
- ・暮らしに根ざした行財政改革の推進 等

※なお、詳細は第3期美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

500,000千円（2026年度～2030年度）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度10月、美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略を進捗管理する産官学金労言で組織される「美唄市地方創生推進会議」において、事業結果を評価・検証する。検証後、速やかに美唄市公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2026年4月1日から2031年3月31日まで

## **6 計画期間**

2026年4月1日から2031年3月31日まで